

# 八幡市で平和のつどい 「平和大使」報告会

## 核兵器の怖さ、平和の大切さ語る

9月29日、8月の広島平和記念式典に八幡市の「平和大使」として参加した中学生の平和報告会が開かれました。



八幡市の平和のつどい=9月29日

平和大使による報告の一部を紹介します。

◆平和資料館に「あの日、閃光が僕たちを焼いた。暑かった、痛かった。最後にもう一度、お母ちゃんに会いたかった」と書いてありました。これを見た瞬間、本当に悲しくなりました。

◆私自身も式典に参加し、核兵器禁止条約でICANがノーベル平和賞を取ったように、もっと世界に核兵器の恐ろしさを広めていかなければならないと思えました。

◆真の平和とは、皆がこの大きな過ちについて忘れないことだと考える。いつかこの世界中に真の平和が訪れるように僕は努力し、考えていきたいと思った。

## 核兵器をなくそう

9月26日、ニューヨーク国連本部で核兵器禁止条約の署名、批准書提出式が行われました。国連軍縮担当事務次長・上級代表の中満泉さん、核兵器廃絶国際キャンペーン（ICAN）事務局長のベアトリス・フィンさんの発言を紹介します。（しんぶん赤旗より）

### 「核廃絶は最優先課題」 中満泉氏

国連は地球上からの核兵器の廃絶に向けた取り組みを1946年の総会決議以来、追求してきました。グテレス事務総長は「軍縮アジェンダ」で、核兵器の完全廃絶を国連における軍縮の最優先課題だと確認しました。

開発されて70年以上が経過した今も、核兵器は人間の安全保障や環境にとって、受け入れがたい脅威であり続けて

### 署名・批准書提出式 署名69カ国、批准19カ国

います。皆さんとともに、核兵器のない世界、より安全で安心できる世界を達成するために取り組んでいきます。

### 「これが市民社会の力だ」

ベアトリス・フィン氏

今日、私たちは、比類なき対話の力、協力、交渉を通じた核兵器禁止条約を発効させる順調な道りにいます。

核兵器によって被害を受けた被爆者と核実験被害者に対し、国連がついに扉を開きました。彼らの体験を聞けば、一般市民、指導者問わず、行動せざるをえません。

これが国連の最高の姿です。これが市民社会の力です。差し迫った脅威に直面するなかでの人類の偉大な姿です。

沖縄知事選

玉城デニー氏勝利

新基地ノー！